

2015年6月15日
関西ペイント株式会社

IPPF(国際家族計画連盟)と包括的なパートナーシップ契約を締結

(International Planned Parenthood Federation)

関西ペイント株式会社(本社：大阪市、石野 博社長)は、IPPFとの包括的なパートナーシップ契約について、本日IPPFメレッセ事務局長と当社社長石野との会談において合意しましたのでお知らせ致します。

記

IPPF(本部:英国ロンドン)は、世界のすべての人々が保健医療サービス(特に女性と妊産婦の健康関連サービス)を受けられ、尊厳を持って生きられる社会を目指し、世界150カ国以上にあるその加盟協会が草の根にはりめぐらせたネットワークを駆使して活動を展開する世界最大級の国際保健NGO団体です。

特にアフリカやアジアの熱帯地域の貧困地域では、蚊を媒介とする疾病により、子どもや妊産婦を含む多くの人々が命を落としています。そのほとんどが予防できる死であることから、IPPFは、関西ペイントがマレーシアで発売した「アンチモスキュー」をきっかけにNGOと民間企業による協業の新しいモデルをつくるためのパートナーシップを提案し、本日両者はその実現に向けた契約を調印いたしました。

当社とIPPFは、「製品の信頼性の告知」「製品の販売や販売支援」「製品開発や承認活動の協業」「研究施設やクリニックでの試験と効果の実証」など、幅広い範囲でパートナーとして相互に協力して関係構築していくことで合意いたしました。なお、地域毎の製品の選択や具体的な取り組みはIPPFの6地域事務局と当社のエリア担当会社が協議の上で、その地域の中でベストの取り組みを行っていくこととなります。

当社石野社長コメント:

「関西ペイントは、特徴ある製品を持ち、病気や感染からコーティング技術によって人を守ることができる。そして、それを必要だと言ってくれるIPPFがいる。IPPFと関西ペイントは地球規模で人の健康を守るためにビジネス連携していきます。」

IPPFメレッセ事務局長コメント:

「IPPFは、世界最大級の保健医療サービス提供ネットワークを駆使して、関西ペイント製品の現地市場開拓のお手伝いと販売のみならず、関西ペイントの効率的経営法、サプライチェーンについても学ばせて頂きたいと希望しています。皆さまこの新しい連携の行く末をどうぞあたたかく見守り、ご支援いただきますようお願い致します。」

●本件に関するお問い合わせ先

関西ペイント株式会社：製商品企画室 松田 斎

電話：06-6203-6530 FAX. 06-6203-5018

※国際家族計画連盟 (IPPF)

国際家族計画連盟 (IPPF) は、1952 年にインドで設立された世界 172 か国で活動する世界最大級の NGO。創設メンバーには、日本初の女性国会議員で日本の家族計画運動のリーダーであった加藤シヅエを含み、日本とは設立以来、特別な協力関係を有する。特に貧しく社会的に最も脆弱な立場にある女性や男性、若者が、生死を左右する保健医療サービスにアクセスでき、尊厳をもって生きていけるよう支援している。IPPF 事務局は、本部 (英国) と 6 地域事務局 (インド、ケニア、チュニジア、ニューヨーク、ベルギー、マレーシア) から成る。

全世界の加盟協会は、何百万人ものボランティアと 3 万人以上のスタッフに支えられ、その草の根に張り巡らしたサービス提供ネットワークを駆使し、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス (SRH) に関する情報や教育、サービスを、世界 65,000 か所に及ぶサービス地点で提供している。サービスの内容には、家族計画、母子保健、HIV の予防、治療、ケアを含む。2014 年には、世界で 1 億 4 千 9 百万件の保健医療サービスを提供した。

IPPF 事務局長 テウオドロス・メレッセ



2011 年 9 月に就任した IPPF 創立以来初のアフリカ出身の事務局長。世界の全ての女性、男性、そして若者 (特に貧しい人々) に SRH サービスを行き渡らせることを目指し、他のパートナー機関との協力の下、SRH に対する経済・政治的支援基盤の強化と IPPF 傘下の加盟協会による活動をより効果的にするために邁進している。前職は、IPPF アフリカ地域事務局長としてサブサハラアフリカ 44 か国の健康と開発に関する大規模案件の実施を率いたほか、その優れたリーダーシップと調整能力によりアフリカ大陸全土の女性や若者のリプロダクティブ・ヘルスを高める上で極めて重要な数々の地域内合意の原動力となった。

IPPF と関西ペイントのパートナーシップ

パートナーシップの詳細については本日、6月15日に IPPF：メレッセ事務局長と関西ペイント：石野社長との会談によって正式決定し、互いに Win Win として長く継続の出来るパートナーシップをめざして協議していくことになる予定です。

関西ペイントは、蚊よけ効果のある塗料「アンチモスキュー」をマラッカにある IPPF マレーシアの医療施設に塗装しました。また、モザンビークの病院でも同様の取り組みを進めており塗料供給の準備を始めています。



マレーシアのマラッカにある医療施設



地域責任者 Mrs.Mehalah Lingam



「アンチモスキュー」を塗装中



塗装後の医療施設

マレーシアでは、昨年デング熱が大流行し国を挙げて蚊よけについて対策を実施中です。アフリカでは、慢性的にマラリアが流行しています。いずれも、蚊が媒介する病気であり、蚊よけ効果のある塗料には大きな期待が寄せられています。

今後、双方の医療施設より蚊よけの効果が報告されることとなります。

以上

●記者発表前に行われた会談



●調印書交換



●記者会見

